

秋分あたりには何とか…

まだまだ残暑が続き、熱中症対策も気が抜けませんね。秋らしい涼しさを待ちわびている今日この頃ですが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

9月は「敬老の日」があり、日頃の感謝をあらためて伝える大切な節目でもあります。今、社会では高齢の方々の活躍がますます注目されており、豊かな経験と知恵を持つ皆さまが多職種にわたり力を発揮されています。

今号では、そんな高齢者の派遣雇用に関する事例をご紹介します。

まだまだ現役！人生100年時代の人材戦略

経験者採用のビッグチャンス

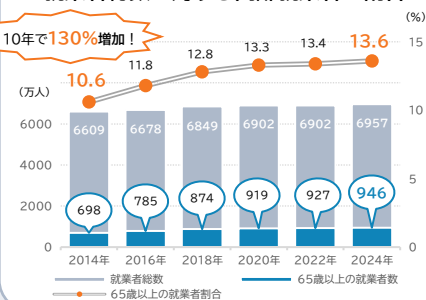
高齢就業者が増加している背景には、少子高齢化で高齢者の割合が増えていること、健康で元気な方が多くなっていることが、大きな影響を与えています。

また法改正により、65歳までの雇用確保が義務化され、70歳まで働ける環境づくりも求められるようになっています。

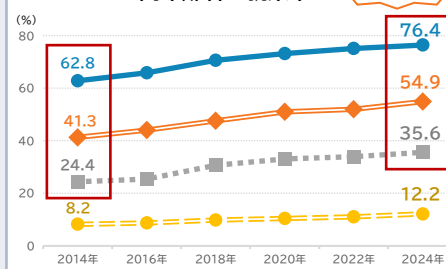


約半数以上の方が
70歳まで働いています！

就業者総数に対する高齢就業者の割合



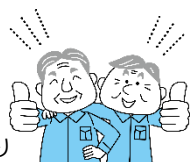
高齢者の就業率



シニアスタッフの与えるメリット

豊富な知識・経験がある

経験者が多く、業務に対する理解度が高い傾向にあります。労働力不足を補う即戦力として貴重な存在です。



高いモチベーションがある

やりがい求めたり、仕事を通じて社会貢献をしたりと、長く働き続ける意欲のある人が多いです。転職の可能性も比較的低いため、若年層よりも定着率が高いのも特徴です。



柔軟な働き方に対応可能

フルタイムに限らず、パートタイム、短時間勤務といった働き方も好まれており、特定の時間帯や業務に集中して任せることが可能です。



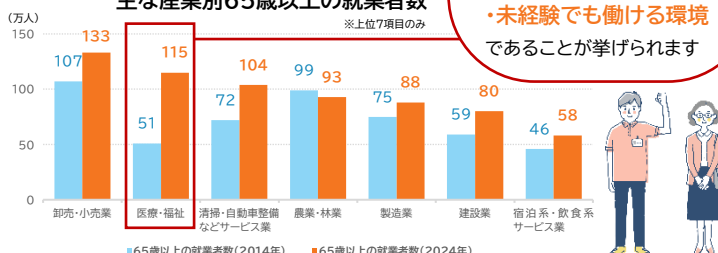
派遣先企業様より頂いた

シニアスタッフの活用好事例

- 業務の波が激しい中で、安定した働きぶりが非常に心強かったです。過去の事例を交えて、納得感のあるアドバイスもしてくださるので、若手メンバーからの信頼も厚いです。 <リゾート系サービス業 E社様>
- 若いスタッフが多い職場ですが、年長者の存在がチーム全体の空気を引き締めてくれました。派遣という形でしたが、まるで昔からの仲間のように馴染んでくれて、本当に助かりました。 <飲食サービス業 S社様>
- 現場の流れをすぐに把握し、自分で考えて動ける方でした。こちらが細かく指示を出さなくても、経験をもとに先回りして対応してくれるのは本当に助かりました。若手にとっても良い刺激になっています。 <福祉サービス業 O社様>

就業者数の多い業種

主な産業別65歳以上の就業者数 ※上位7項目のみ



医療・福祉が人気の理由には
・地域密着型
・未経験でも働ける環境
であることが挙げられます

高齢化の未来に向けて

若年人材の減少に伴い、職場の平均年齢も上昇傾向にあります。人手や技術の補充のみならず、今いる社員が安心して長く働けるよう、高齢者向けの業務や雇用、待遇について、具体的に考えることが大切です。

自由度が高く、幅広い年齢層が在籍している派遣だからこそできる！
長期的なスタッフ雇用に向けた土台作りを、当社がお手伝いいたします！

お気軽にお問い合わせください！

自然の脅威！台風にご用心

毎年発生し、時には避難を余儀なくされる自然災害。
今月は、台風と災害対応に関する情報をピックアップいたしました。
皆様と共に、防災意識を高めるきっかけとなれば幸いです。



被害が拡大しやすい月

9月は気象条件が重なり、**一年で最も台風の
上陸リスクが高いシーズン**となっています。

具体的には…

高い海面水温 …… **発生数UP↑**
偏西風による北上 …… **上陸数UP↑**
秋雨前線と重なる …… **大雨被害確率UP↑**

昭和の三大台風はすべて9月発生！

中でも17・26日は特異日と言われ、
大型台風の来やすい日とされています。

日本に大きな被害を与えた台風の例

	日付	死傷者・行方不明者数 ※うち0内死者数	家屋の損壊数 ※全壊、半壊、一部損壊の合計
■ 室戸台風	1934年9月21日	18,030人(2,702人)	92,740棟
■ 枕崎台風	1945年9月17日	6,208人(2,473人)	89,839棟
■ 伊勢湾台風	1959年9月26日	44,019人(4,697人)	833,965棟
■ 東日本台風	2019年10月12日	494人(107人)	66,383棟

気象庁HPより引用 <https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/typhoon/6-1.html>

気象庁
台風による
災害例



まずは自分で自分を守る！

防災行政は年々発展し、自治体ごとに様々な取り組みがなされています。
ですが、実際に適切な判断、行動をとるためには、個人単位で防災知識を
身に付けることが重要です。

✓ 台風に向けた事前準備例

家屋、社屋周りの点検

- 屋根の破損有無、シャッターの動作確認
- 雨樋や排水溝の詰まりを排除
- 不安定なものの収納、固定



避難場所・連絡手段の確認

- ハザードマップを利用した危険個所の把握
- 緊急連絡先の共有
- 安否確認システム、災害用伝言ダイヤルの導入

防災グッズの用意

- カセットコンロ、ガスボンベなどの用意
- 服用中の薬、お薬手帳の管理
- 電池、バッテリー類の確保



令和3年5月
より改定

避難情報に関するガイドライン

警戒レベル	取るべき行動	避難情報
5	命の危険 直ちに安全確保	緊急安全確保
警戒レベル4までに必ず避難		
4	危険な場所から 全員避難	避難指示
3	危険な場所から 高齢者等は避難	高齢者等避難
2	避難行動を確認	洪水・大雨注意報など
1	災害への心構えを 高める	早期注意情報

やりすぎくらいが
ちょうどいい！

内閣府
ガイドラインの詳細
多言語版はこちら



地球温暖化の影響で、強い勢力を保ったまま日本へ上陸する台風が増加しています。
状況に応じて身の安全を確保できるよう、日頃から備えましょう。

サンキョウテクノスタッフからお知らせ



みやぞんさんをタレント起用 いたしました！

このたび当社では、さらなるブランド力向上とプロモーション活動の強化を目的に、
みやぞんさんを新たに広告タレントとして起用することになりました！

CM・バラエティなど、幅広い分野でご活躍中のみやぞんさん。

その明るくエネルギー溢れるキャラクターは、まさに当社の想いを体現してくださる存在です！

今後は、みやぞんさんとともに展開する新キャンペーンや、各種広告展開にもぜひご注目ください。



株式会社サンキョウテクノスタッフ

愛知県豊橋市西幸町幸22-2 三協ビル本館
TEL 0532-46-7017 FAX 0532-38-5065

安心を提供する企業へ

